

運用開始のお知らせ

HSBCグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2024-01（限定追加型）は2024年1月29日に設定され、3月4日までの安定運用期間が経過いたしました。

その後、市場環境等を勘案しながら銘柄を厳選し、債券の組入れを行ってまいりました。

この度、3月11日（現地3月8日）にポートフォリオの構築が完了いたしましたので、当資料にてご報告申し上げます。

ファンドの特性値

平均最終利回り（米ドルベース）【①】	年5.49%
為替ヘッジコスト（米ドル円、5年固定）【②】	年3.76%
平均最終利回り（円ベース）【①－②】	年1.73%
信託報酬（年率、税込）【③】	年0.693%
実質の平均最終利回り （円ベース、信託報酬控除後）【①－②－③】	年1.04%*
組入銘柄数	103

* 実際のポートフォリオの組入債券の償還時期によっては上記の水準を下回ることがあります。

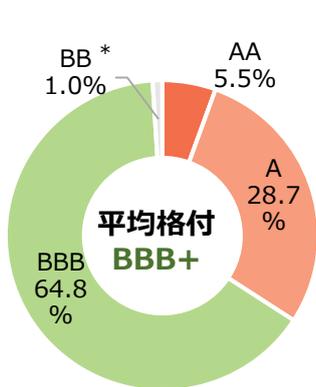
※平均最終利回りは取得時点、為替ヘッジコストは取引時点の数値です。

※上記の「実質の平均最終利回り」には購入時手数料（税込1.1%）は考慮されていません。

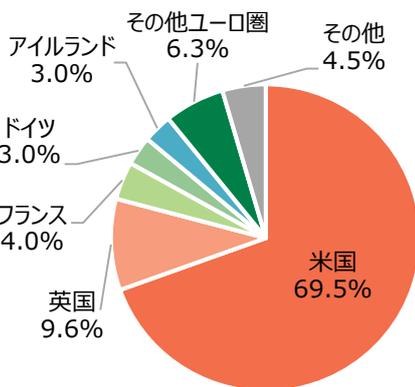
出所：HSBCグローバル・アセット・マネジメント（米国）インクのデータをもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

組入比率（2024年3月13日時点）

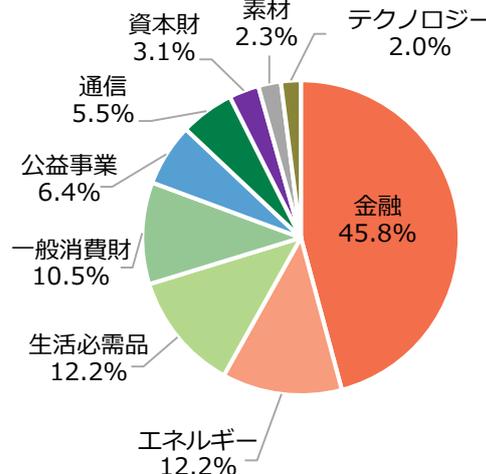
【格付別】



【国・地域別】



【セクター別】



* 取得時における格付は投資適格債（BBB-）です。

※組入比率は現金を除いた組入債券部分に対する比率です。

※格付はS&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ、フィッチの中から最高格付を採用しています。

※セクターはブルームバーグの情報に基づき分類し、HSBCアセットマネジメント株式会社が和訳したものを記載しております。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

「当資料に関する留意事項」については後掲をご覧ください。

組入債券上位10銘柄（2024年3月13日時点）

順位	発行体	国・地域	概要	最終利回り	償還日 (年/月/日)	セクター	格付	組入比率
1	ドイツ銀行 (ニューヨーク)	ドイツ	ドイツの大手金融機関ドイツ銀行の米国子会社	6.21%	2029/01/18	金融	A-	2.0%
2	バンク・オブ・アメリカ	米国	世界各地で事業を展開する金融持株会社	5.44%	2029/03/05	金融	AA-	2.0%
3	バクスター インターナショナル	米国	医療機器、医薬品等を開発、製造、販売するヘルスケア企業	5.05%	2028/12/01	生活必需品	BBB	1.8%
4	バークレイズ	英国	国際的な金融サービス会社	6.03%	2028/11/02	金融	A	1.8%
5	ラボバンク	オランダ	世界各地で事業を展開する銀行	5.47%	2029/02/28	金融	A+	1.8%
6	ゼネラル・モーターズ ・ファイナンシャル	米国	自動車大手ゼネラル・モーターズの金融子会社	5.29%	2029/04/06	一般消費財	BBB	1.5%
7	現代キャピタル ・アメリカ	米国	韓国の現代自動車グループの金融子会社	5.24%	2029/01/16	一般消費財	A-	1.5%
8	チャールズリバー ・ラボラトリーズ	米国	創薬と薬剤開発のリサーチツール等を提供する医療関連会社	5.81%	2029/03/15	生活必需品	BBB-	1.5%
9	ナットウエスト ・グループ	英国	銀行持株会社	5.77%	2028/09/30	金融	A	1.5%
10	スプリント ・キャピタル	米国	無線電気通信サービス会社T-mobile (旧スプリント)の金融子会社	5.16%	2028/11/15	通信	BBB	1.5%

※ 組入比率は現金を除いた組入債券部分に対する比率です。

※ 銘柄名はブルームバーグ等の表記を参考にHSBCアセットマネジメント株式会社が翻訳しており、発行体の公式名称やその和文訳と異なる場合があります。

※ 格付はS&P グローバル・レーティング、ムーディーズ、フィッチの中から最高格付を採用しています。

※ セクターはブルームバーグの情報に基づき分類し、HSBCアセットマネジメント株式会社が和訳したものを記載しております。

出所：ブルームバーグ、各社ホームページ等をもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

投資状況について

- 現在の社債市場は堅調に推移しており、社債の спреッド（国債に対する上乗せ金利）は低下傾向にあります。
- そのような市場環境において、財務内容が健全で利回り面での投資妙味が高い銘柄を選別することで、ポートフォリオの平均格付はBBB+、実質の平均最終利回り（円ベース、信託報酬控除後）は年1.04%となりました。
- 国・地域別では、米国が約7割、欧州・ユーロ圏が3割弱と先進国中心の構成としています。
- 業種別では、高格付の銀行を中心とした金融を最多としました。また、世界経済は今後減速に向かうと予想しており、景気変動の影響を受けにくい生活必需品を多めに組み入れています。
- 組入銘柄数は103銘柄に分散することで、信用リスクの軽減を図っています。
- 今後のファンドの運用においては、景気減速に備えて慎重な姿勢で投資を行います。常時モニタリングを継続し、必要に応じてポートフォリオのメンテナンスを適切に行う方針です。

【投資信託に関する留意事項】

- 投資信託は預金・貯金ではありません。また、投資信託は、元本および利回りの保証がない商品です。
- 当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託の申し込みにあたっては、リスクや手数料等を含む商品内容が記載された重要情報シートならびに投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- ゆうちょ銀行各店での申し込みに際しては、重要情報シートならびに投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面を、書面交付または電子交付しております。インターネットでの申し込みに際しては、投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面を電子交付しております。

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
市場動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

「当資料に関する留意事項」については後掲をご覧ください。

【当ファンドに関する留意事項】

① 安定運用期間（購入申込期間）

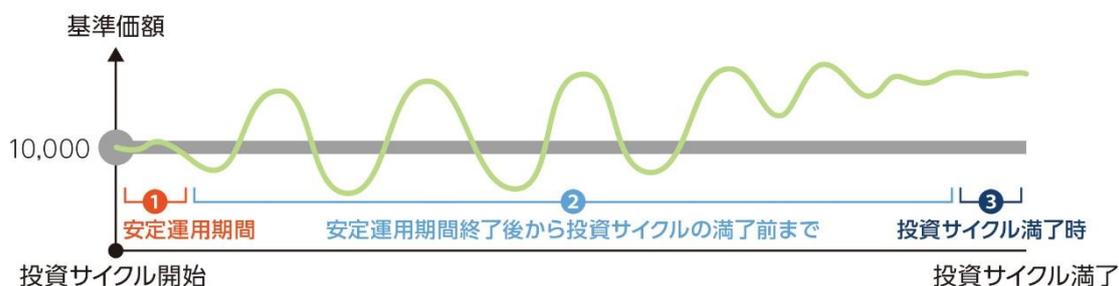
- 預金を含む短期金融資産等での運用を行います。
 - 各投資サイクル開始時（ただし、第1投資サイクルについては、ポートフォリオ構築完了までの間）に、当該投資サイクルの期待収益率※が0%を下回ることが見込まれると委託会社が判断する場合には、繰上償還します。
 - ファンドの残存口数が50億口を下回った場合には、ファンドは繰上償還する場合があります。その際は、時価での償還となり、投資元本を割り込むことがあります。なお、この場合に限り、購入時手数料は、販売会社の所定の方法により、返金いたします。
 - その他やむを得ない理由を含め、万が一繰上償還する際は、短期金融資産等の時価での償還となり、投資元本を割り込むことがあります。
 - なお、各安定運用期間および各安定運用期間最終日の翌営業日においては信託報酬はかかりません。また、各安定運用期間において受付けた換金申込については信託財産留保額はかかりません。
- ※ 期待収益率とは、各投資サイクルの事前に作成される債券モデルポートフォリオの利回り（米ドル建て、年率）から、対円での想定為替ヘッジコスト、および信託報酬率等想定費用を除いた、費用控除後の想定利回りを言います。

② 安定運用期間終了後から投資サイクルの満了前まで

- 社債市場における信用リスクの高まりや市場金利の上昇等により債券および短期金融資産等の価格が変動し、基準価額は下落する場合があります。
- 安定運用期間以外の解約は、換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額（換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額）を引いた価額での解約となるため、市場環境によっては投資元本を割り込む場合があります。
- ファンドの残存口数が50億口を下回った場合、その他やむを得ない理由がある場合にはファンドは繰上償還する場合があります。その際は、時価での償還となり、投資元本を割り込むことがあります。

③ 投資サイクル満了時

- 安定運用期間終了後から当該投資サイクル満了までの間に組入債券にデフォルト（発行体の破綻等）が生じた場合、当該債券の利払いの停止や額面未済での償還となる可能性があるため、投資元本を割り込む場合、またはポートフォリオ構築時に見込まれる収益が達成できない場合があります。



※上記はイメージであり、実際の運用成果を示唆するものではありません。

ファンドの主なリスク

投資信託は**元本保証のない金融商品**です。また、投資信託は**預貯金とは異なることにご注意ください**。当ファンドは、主に値動きのある有価証券を投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの**運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属**します。

基準価額の主な変動要因

■ **金利変動リスク** ■ **信用リスク** ■ **為替変動リスク** ■ **流動性リスク** ■ **カントリーリスク**

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

【分配金に関する留意点】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

委託会社、その他関係法人

委託会社：HSBCアセットマネジメント株式会社

【照会先】



電話番号 **03-3548-5690**

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.co.jp



投資顧問会社（運用委託先）：HSBCグローバル・アセット・マネジメント（米国）インク

受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社

お申込みメモ **現在、購入の申込受付は行っておりません。**

換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額 *各安定運用期間中の換金申込については、換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目以降に販売会社でお支払いします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
換金申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、ニューヨーク証券取引所の休場日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに該当する場合（ただし、安定運用期間中を除きます。）には、換金の申込受付は行いません。
換金の申込受付の中止および取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は換金の申込受付の中止および取消しを行う場合があります。
信託期間	2024年1月29日（信託設定日）から2044年5月10日（償還日）まで
繰上償還	ファンドの残存口数が50億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年5月10日（休業日の場合は翌営業日） ※初回決算日は2025年5月12日
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わない場合があります。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

ファンドの費用

購入時手数料	購入金額に、 1.10%（税抜1.00%） を乗じて得た額とします。 現在、購入の申込受付は行っておりません。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額（換金時） ただし、各安定運用期間において受付けた換金申込については徴収しません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に 年0.693%（税抜年0.63%） を乗じて得た額とします。 ただし、各安定運用期間および各安定運用期間最終日の翌営業日においては徴収しません。 委託会社：税抜年0.30%/販売会社：税抜年0.30%/受託会社：税抜年0.03%
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。・有価証券売買委託手数料/保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等・振替制度にかかる費用/印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用/監査法人等に支払う監査報酬等・その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。

※ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

【当資料に関する留意事項】

- 当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料はHSBCアセットマネジメント株式会社が運用状況の説明を目的として作成した資料です。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務、情報の根拠となるデータなどについて公開する義務を一切負いません。
- 投資信託は預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。当ファンドの購入のお申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（クーリング・オフ）の適用はありません。

販売会社

設定・運用



株式会社ゆうちょ銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第611号
加入協会/日本証券業協会

HSBCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号
加入協会/一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
日本証券業協会